

H28

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	11 行政評価の実施					重要度	A		
番号・取組事業名	11001	施策評価	作成日	H28.3.1		更新日	H29.3.31		
担当部署	020100	企画部 企画調整課	責任者	岩崎 克康		担当者	高橋		
取組年度	H28	～	H32						
効果	その他改善								
最終目標	<p>総合計画に即して資源配分(P)し、各部門が着実に取組を行い(D)、その結果進捗状況等を管理し(C)、その状況に応じて配分を見直す(A)というPDCAマネジメントサイクルを機能させること。          各取組に対して、成果指標を設け、それについて施策評価を行い検証する。この各取組ごとの成果指標の達成率を向上させることを目標とする。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う							
平成29年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う							
平成30年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う 事業の点検・評価に基づき施策の方向性等を再検討する							
平成31年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う							
平成32年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う 事業の点検・評価に基づき施策の方向性等を再検討する							
成果指標	指標名	各施策の達成率					単位	%	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		設定なし	設定なし	中間評価の値	中間評価の値	中間評価の値	中間評価の値	
	実績値		—						
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)			第五次総合計画に位置付けた施策を効果的に実施できる。	第五次総合計画に位置付けた施策を効果的に実施できる。	第五次総合計画に位置付けた施策を効果的に実施できる。	第五次総合計画に位置付けた施策を効果的に実施できる。	第五次総合計画に位置付けた施策を効果的に実施できる。		

H28

## アクションプラン(平成28年度)

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A					
番号・取組事業名	11001	施策評価	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31					
担当部署	020100	企画部 企画調整課	責任者	岩崎 克康	担当者	高橋					
	区分	取組内容・目標									
平成28年度	実施	サマーレビューによる事業の点検・評価を行う									
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月				
1	庁内マネジメント研修			○	○	○					
2	サマーレビュー				○						
3	総合計画管理システム改修			○	○						
4	サマーレビュー総括書作成					○	○				
5	事務事業評価・内部評価・予算編成との連携			○	○	○	○				
6	施策評価内容検討			○	○	○	○				
7	施策評価システム構築			○	○	○	○				
8	市民意識調査			○	○	○					
9											
10											
進捗											
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<p>庁内のマネジメント研修は、年度当初に進捗管理についての説明会を行い周知。計画では数ヶ月に一度の研修を予定していたが、今年度は総合計画の運用指針を作成し、周知することで代替とした。</p> <p>新たな課題として、①システムの仕様がサマーレビューのアウトプットと一体となっていない②サマーレビューを実施する事業の絞込み等今年度から平成29年度にかけて検討。</p>						
進捗・実績											
	年度末	成果指標名	各施策の達成率		計画値	単位	%	実績値	単位	%	
						設定なし			-		
		達成状況【成果】	その他	コメント	サマーレビューの結果、52の事業を最重点事業として設定し、その方向性を示すとともに、予算編成や職員定数管理につなげた。市民意識調査を実施し、第五次総合計画に基づくまちづくりの定性的な評価・分析を行った。						
		進捗状況【活動】	計画どおり								
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	庁内マネジメント研修については、毎年度行わない。(総合計画の運用指針で代用)						
		計画値	無								
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする								
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	適切に進捗管理を行い、重点事業の確実かつ計画的な実施に繋がりたい。							
	方向性	継続実施									

H28

## アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	11 行政評価の実施					重要度	A	
番号・取組事業名	11002	事務事業の見直しの推進	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31		
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	岩崎 克康	担当者	行政改革推進担当		
取組年度	H28	～	H32					
効果	歳入増加	歳出削減	その他改善					
最終目標	<p>・事務事業シートの活用 各課の事務事業について、事業実施の有効性や効率性の視点から見直しを進める。 事務事業シートを通じて職員にPDCAサイクルの考え方を定着させるとともに、事務改善の意識を醸成する。また、事務事業シートを次年度予算の査定や総合計画の進捗管理、人事評価や組織定数管理などに活用する。</p> <p>・二次評価の実施 各事務事業の担当課による自己評価（一次評価）に加え、企画部門による内部評価（二次評価）を実施していくことで、事務事業の見直しの実効性を高める。評価結果は、予算や事務事業の改廃・再構築等に反映させることで、更なる事業の見直しを進める。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業シートの作成、活用</li> <li>行政内部による二次評価の実施</li> </ul>						
平成29年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業シートの作成、活用</li> <li>行政内部による二次評価の実施</li> </ul>						
平成30年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業シートの作成、活用</li> <li>行政内部による二次評価の実施</li> </ul>						
平成31年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業シートの作成、活用</li> <li>行政内部による二次評価の実施</li> </ul>						
平成32年度	完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業シートの作成、活用</li> <li>行政内部による二次評価の実施</li> </ul>						
成果指標	指標名	二次評価を実施した事業数					単位	事業
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		20	20	20	20	20	100
	実績値	20	14					14
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
	変更計画額	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)		事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。	事業の見直しを行うことで、事務の効率化及び市民サービスの向上につながる。		

H28

## アクションプラン(平成28年度)

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A			
番号・取組事業名	11002	事務事業の見直しの推進	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31			
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	岩崎 克康	担当者	行政改革推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成28年度	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務事業シートの作成, 活用</li> <li>行政内部による二次評価の実施</li> </ul>							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	当該年度事務事業シートの確認			○					
2	内部評価対象事業の決定			○					
3	前年度事務事業シートの完成				○				
4	内部評価の実施				○				
5	当該年度事務事業の中間評価				○				
6	次年度事務事業シートの作成				○				
7	前年度事務事業シートの公開					○			
8	内部評価の評価結果の決定					○			
9	内部評価結果の公開						○		
10	当該年度事務事業シートの完成に向けた作成(内部評価結果に基づく取組の反映を含む)						○		
進捗									
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度の事務事業については、内部評価に係る評価への対応が遅れているものの、1,057件の自己評価として公表に向けた準備を進めている。</li> <li>平成28年度の事務事業については、1,035件の中間評価(自己評価)を行い、次年度の取組みへの反映を進めている。</li> <li>平成29年度の事務事業としては、1,024件の事務事業シートを作成している。</li> <li>内部評価については、14事業に対して評価を行い、評価結果の公表や評価結果に対する取組みへの調整を進めている。</li> </ul>				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	二次評価を実施した事業数	計画値	単位	事業	実績値	単位	事業
					20		14		
		達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度の事務事業については、1,057件の自己評価として公表した。</li> <li>平成28年度の事務事業については、1,035件の自己評価を行っており、決算値(額)が確定した後に公表する。</li> <li>平成29年度の事務事業については、1,024件のシートを作成し、活用を図っていく。</li> <li>内部評価については、計画値がテーマ確定前の暫定値であり、テーマによって事業数は変動する。今年度対象テーマとした事業すべてに対して評価を行い、公表した。</li> </ul>				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
		計画値	無						
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	事務事業評価の本来の目的である予算・事務事業の改廃、再構築等に繋がられるように鋭意取り組まれない。					
	方向性	取組み強化							

H28

## アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A		
番号・取組事業名	11003	消防局事業の効率的展開	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31		
担当部署	400600	消防局 企画統制課	責任者	木村 誠寿	担当者	企画統制担当		
取組年度	H28	～	H28					
効果	その他改善							
最終目標	「市民の安全性を高める消防行政」という基本理念の下、消防局長経営方針を定め、総合的かつ戦略的な消防行政を積極的に推進するとともに、消防局長経営方針に基づくマネジメントサイクルを確立し、効果的な消防行政の運営に努める。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	完了 <small>(事業終了)</small>	経営方針の公表(消防局ホームページ)と事業の進捗管理(局長によるヒアリング)						
平成29年度								
平成30年度								
平成31年度								
平成32年度								
成果指標	指標名	進捗管理回数					単位	回
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		5	5	5	5	5	5
	変更計画値	4						0
	実績値		5					0
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
	変更計画額	0	0	0	0	0	0	
	実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)	事業管理による各事業の効率的な実施。戦略的な事業展開による市民の安全性の向上。	事業を効率的に展開するための事業管理。市民の安全性の向上を図る戦略的な事業展開。						

H28

## アクションプラン(平成28年度)

推進項目	11 行政評価の実施				重要度	A	
番号・取組事業名	11003	消防局事業の効率的展開	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31	
担当部署	400600	消防局 企画統制課	責任者	木村 誠寿	担当者	企画統制担当	
	区分	取組内容・目標					
平成28年度	完了 (事業終了)	経営方針の公表(消防局ホームページ)と事業の進捗管理(局長によるヒアリング)					
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	消防局長経営方針の策定			○			
2	消防局長ヒアリングの実施			○			
3	事業進捗状況調査(中間)の実施				○		
4	消防局長中間ヒアリングの実施					○	
5	組織ヒアリングの実施, 次年度組織フレームの決定					○	
6	消防局重点事業の策定					○	
7	事業進捗状況調査, 分析, 評価の実施						○
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度消防局長経営方針を策定し, この方針に基づく消防局重点事業の進捗状況, 実情などを把握するため, 各所属に対して中間ヒアリングを行った。</li> <li>マネジメントサイクルの確立に向けて, 総合的かつ計画的な消防行政の運営を計画的に進めている。</li> </ul>		
進捗・実績							
		成果指標名	進捗管理回数	計画値	単位	回	実績値
					5		5
	年度末	達成状況【成果】	達成	コメント	各年度毎に消防局長経営方針を策定し, この方針に基づくマネジメントサイクルを確立したため, 取り組みとして一定の成果を得ることができたと考える。今後も, このマネジメントサイクルを継続して事業の効率的展開を図っていく。 アクションプランとしての取り組みは完了とするが, 今後新たな取り組みを行う場合は, 計画を作成していく。		
		進捗状況【活動】	完了 (事業終了)				
		計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント		
			計画値				
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	今後とも効果的な消防行政の運営に努められたい。			
	方向性	完了 (目的達成)					